



遠藤れい子ひまわりレポート

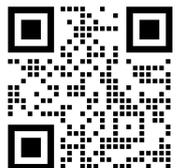
○遠藤れい子事務所 〒940-0052 長岡市神田町3-1-3
☎ 0258-32-1741 fax 0258-32-6443



原発再稼働ストップ

原発再稼働の是非は県民投票で！

あなたも署名収集者(受任者に)なって、署名を集めてください



QRコードはこちら。
ユーチューブ見てください。

柏崎刈羽原発の再稼働の是非は県民投票で決める会の活動紹介 (小林茂監督)



原発再稼働ストップを
総選挙、ある農家の男性が「原発は危険だ。どうしてもやめさせたい。事故になれば避難も大変だが、農家はコメも何も作れなくなってしまう。絶対反対だ」と熱く語ってくれました。
県民投票条例をつくる署名をたくさん集めよう
受任者の皆さんがそれぞれの地域などで署名を集めている様子が報告されてくるようになりました。事務所にも、「どこに行けば署名できるのか」の問い合わせ電話もかかってきています。みなさん、頑張りましょう。

総選挙ー自公過半数割れ 日本共産党の大きな貢献

(志位議長の話より)

総選挙は自民党、公明党の衆議院での過半数割れという歴史的な結果となりました。金権腐敗政治に対して、国民の厳しい審判が下りました。
日本共産党の大きな貢献
この歴史的な結果に大きく貢献したのは、日本共産党としんぶん「赤旗」です。「裏金」のスクープ。そして「非公認候補にも政党助成金から2000万円」のスクープがとどめを刺したことは間違いありません。ここに確信を持ちましょう。
改憲勢力3分の2以下に
自民・公明・維新・国民・保守・参政の6党合わせて287議席となり、衆議院定数3分の2の310議席を下回りました。衆議院での憲法改憲発議は不可能になったことの意味は大変に重い。ただ、参議院ではまだ3分の2の議席数であ

遠藤れい子の笑顔でファイト

て、一人暮らしのお母さまを思う子どもたちの近くに越される

11月3日、Sさんが子どもたちが住む太平洋側の県に引越されるといので、地域のお仲間が激励送別会を開きました。私も御呼ばれし、ごあいさつしました。
そのご自宅は加茂杉でつくられた、とても素敵なお家です。東山から朝日が昇り、牧場を真正面に見て抜群の見晴らしです。でも、やっぱり冬の雪は大変、若い頃ならまだしも、だんだん年を重ねて厳しくなっています。

友が他県に引っ越し、激励送別会に参加して



「これからも共に元気で」と花束を贈る

集まった皆さんは私の大先輩方。戦中、自由がなかった時代、戦争で家族を失い住む場所を転々としたこと、超低空の米軍機が操縦席から投げられたチョコレートを手拾ったなど、戦前生まれの皆さんの壮絶な人生体験を伺った。苦勞を乗り越えた話に、「絶対に戦争してはいけない」と改めて強く思いました。秋の青空と紅葉が美しい日の送別会、平和が一番のごちそうですね。

り、警戒を緩める訳にはいきません。
政治を前に動かす可能性が広がった
企業団体献金の禁止、選
択的夫婦別姓など自民党だけが反対。紙の健康保険証の存続は石破首相も総裁選で約束。学費値上げ賛成の候補者はゼロ。軍拡増税をどうするかもテーマになる。国民の声が政治を動かすことができる状況に
のです。